

# 経 過 報 告

## 設立までの経緯

農山村地域の住民は恵まれない生活環境のなかでありながら、一途に国民食糧確保のため、懸命の努力を続けてきた結果、今日、その健康状態は極めて憂慮すべきものとなっています。

その具体的なあらわれとしては、農林漁業従事者の死亡率は全産業のその1.3倍で第2位であり、死亡率は郡部が高く、大都市ほど低くなっており、乳児の死亡率も都市と郡部の格差は、ますますひろく傾向にあります。

ことに最近、主婦の農業従事者が高まるにつれて、農村婦人の健康が損われ、元気で働いている農村婦人にかなりの疾病におかされている結果すらでております。

このことは、生活環境の不十分、過酷な労働に対して、休養および栄養食品摂取量の不十分、農薬使用量の増加による農薬危害等、健康破壊の実態を改善しなければならない現状にあります。

そこで本県における農山村の実態を医学的に調査研究する機関設立の声が高まり、県、農業団体、学識経験者により検討を重ねて参りました結果、巾広い調査研究ができる機関とし各方面の協力が得られ、しかも従来各所まちまちの調査研究が行なわれている問題を総合的に集約でき得る体制にするためのものでなくてはならないという趣旨であります。

従って、大学（医学、学術関係教授）、県（厚生、農林行政担当者、衛生研究、公衆衛生、保健所、医療保健担当者）、市町村（厚生、農林、医療、保健担当者）、農業団体（農協、営農、生活指導員）県医師会（学術担当、開業医）、公立及び公的病院（医師、医療技術者）、農協青年・婦人部（部員）等から設立の趣旨に賛同する方々をもって会員とすることにいたしております。

なお、この会員の中から専門研究員を委嘱し、調査研究を依頼することにいたしております。今日まで以上の検討を加え、去る昭和44年10月18日、富山県農村医学研究会設立発起人会を終了し、今回創立総会を開催する運びとなった次第であります。

## 富山県農村医学研究会

### 設立世話人

富山県知事	吉田 実	富山県厚生部長	阿部 克己
富山県農業協同組合中央会長	土岐 幸隆	金沢大学医学部教授	豊田 文一
富山県農業水産部長	石黒 正仁		
富山県厚生農業協同組合連合会長			

### 設立発起人

大谷技術短期大学教授	長谷田 祐作	上市厚生病院長	越山 健二
富山県医務課長	野畑 栄作	砺波厚生病院長	水木 正雄
富山県農産課長	伊東 達雄	高岡市農林部長	川原 主馬
富山県公衆衛生課長	岸岡 保	富山県農協婦人組織協議会長	木下 緑
富山県農業協同組合中央会副会長	松井 信勝	金沢大学医学部教授	豊田 文一
上市保健所長	菅野 利克	富山県厚生農業協同組合連合会長	石黒 正仁
富山県医師会医学振興担当理事	石田 礼二	農協高岡病院長	林 脩
富山市保健指導室長	沢田 秀忠	農協滑川病院長	伊藤 三広